

# ちゃんこ鍋

横田本店

滑川市立南部小学校

6の2 学級通信

No. 1

H9. 卯月. 7

続けることの難しさ、大変さ

しかし、やっぱり「けいぞく継続は力なり」なのだ!

あなた達は日記を書いてきました。それも毎日。今年度も同様、書いていくことができればと思っています。ただ、昨年度、毎日のように日記を書き続けてくることができた人は、果たして何人いることでしょうか。残念ながらクラスの半分もいないのです。ここから、続けることの大変さが見えてきます。

先生自身も「続ける」ということは、とても苦手です。(君たちにもえらそうにいろいろといっているくせに!!)「これを毎日やろう」と思っている、いわゆる『三日坊主』になってしまうのです。三日坊主で終わったことは、後から考えてみると、大した力になっていません。それだけに「続ける」ことは、大切なことなのです。

日記のことに話を戻しますが、日記には大切な3つのステップがあると思います。

- ①毎日書く
- ②長く書く
- ③1つのことを詳しく書く

の3つです。このステップの基本に、「毎日書く」ということをあげました。毎日書き続けることは確かに大変です。しかし、このことを通してたくさんの力が身につきます。どんな力がつくか、自分で考えてみて、日記に書いてきてほしいと思います。

とにかく、日記を毎日続けてきた人には「成長」がみられました。日記自体の成長でいえば、あまり長く書けなかった人は、2ページでも平気で書くことができるようになり、やったことだけを書いていた人

は、自分の思ったことが書けるようになり、かたい文章しか書けなかった人は、おもしろみのある文章を書いてくるようになったり・・・

さて、ここで何事にも続けることは大切であるということをお話している話を1つ紹介しましょう。

## 一粒の米の話

江戸時代の学者・新井白石あらはくせきという人の話です。

白石が子どもの頃、勉強がいやだといつてなまけていたことがあったそうです。

その時、父親が白石に次のように言ったそうです。

「1升(いっしょう)の米から1粒くらい取っても、減ったかどうかかわからない。しかし、10日、20日と取り続けると減ったことがわかる。勉強も1日ぐらいなまけたってどうということはない。

でも、1粒ずつの集まりが1升になっているのだ。1粒が大切なのだ。

日記を書き続けることは、大変かもしれませんが、**努力**が必要かもしれません。しかし、その努力の持続が「力」となると思います。この1年間、がんばっていきましょう。

## なんで「ちゃんこ鍋」なのか?

先日、ちゃんこ鍋屋でちゃんこ鍋を食べていて思いついたので。いろいろな具がそれぞれのうまみを出し、それが調和されて実にうまいのです。この6の2もうまみのあるクラスになったらいいな、1人1人が具となってそれぞれのうまみを出し合えたらいいな、とそう思ったのです

